

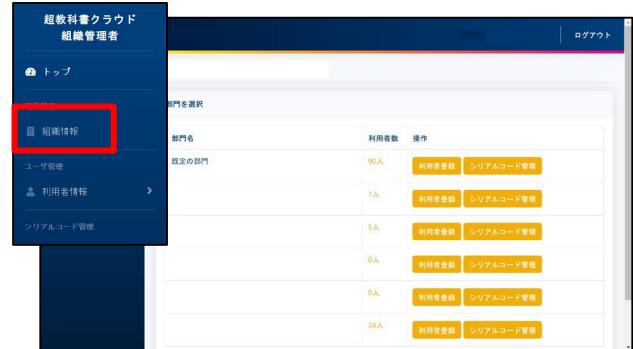
クラウド版デジタル教科書 学習履歴の保存方法

<組織管理者画面での設定方法>

クラウド版デジタル教科書では、教科書のどのページを開いたかという情報やかきこんだ内容などの学習履歴は、クラウド上に保存可能です。この機能は組織管理者画面でON/OFFを変更することが可能です。

※デフォルトでは、自動保存が「ON」、利用者による設定変更が「ON」となっています。設定を変更されない方は、下記の手順は不要です。

①組織管理者画面にログイン後、左メニューより、「組織情報」を押します。



②「組織情報」画面でページをスクロールすると、【Webアプリ機能ON/OFF】という項目が表示されます。「学習履歴のクラウド保存」の欄から現在の設定をご確認いただけます。

設定を変更する場合は、「編集ボタン」を押します。



③希望する運用方法に応じて設定を変更します。

(運用1) すべての利用者がクラウド上に保存する
→「ON/OFFの初期設定」のチェックを入れ、「利用者がON/OFFを操作可能か」のチェックを外してください。(初期はこの状態になっています。)

(運用2) すべての利用者がクラウド上に保存しない
→「ON/OFFの初期設定」のチェックを外してください。

(運用3) 利用者自身がクラウド上への保存する・しないを選択できる
→「ON/OFFの初期設定」のチェックと「利用者がON/OFFを操作可能か」のチェックを両方入れてください。



<「(運用3) 利用者自身がクラウド上への保存する・しないを選択できる」にした場合>

①設定完了後、超教科書クラウド利用者画面に初回ログインをすると、右のようなメッセージが表示されます。

ボタンを押してクラウド上への保存の設定を選んでください。

※「利用者がON/OFFを操作可能か」がOFFになっている場合、このメッセージは表示されません。利用者の保存のON/OFFは組織管理者画面での設定によって決まります。

②設定を変更する場合は、右上に表示された名前を押し、「機能ON/OFF」押します。

ポップアップが表示されたら、「ON」もしくは「OFF」と表示されているボタンを押すと切り替えることができます。



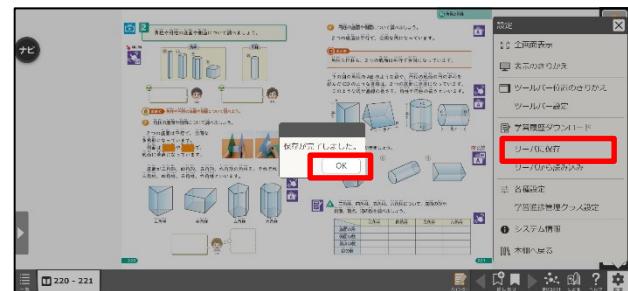
<学習履歴の保存方法>

クラウド版デジタル教科書では、通常自動で学習履歴が保存されます。ただし、ネットワーク環境などにより自動で保存がされない場合も考えられます。学習終了時には下記の手順を行うようにしてください。

【1】学習履歴を保存する

- ①右下の歯車アイコン (⚙️) から「サーバに保存」ボタンを押します。
- ②画面真ん中に「保存が完了しました。」という文字が表示されたら、「OK」ボタンを押して教科書を閉じます。

※保存がうまくいかない場合には、後述の「学習履歴ファイルをダウンロードする方法」で保存してください。



【2】再開する

- ②次回学習時は、本棚から教科書を開くと自動的に前回の続きから学習を始めることができます。



<新規や別の学習履歴で教科書を開きたい場合>

- ①開きたい教科書の右下に表示された ... ボタンを押します。



- ②右のようなポップアップが表示されます。

右上に表示された「新規作成」ボタンを押すと、新しい学習履歴を作成することができます。

- ③複数の学習履歴が作成されている場合、一覧が表示されます。開きたい学習履歴を押すと、教科書を続きから開くことができます。

※教科書1冊あたりのクラウド上で保存できる容量には、制限がございます。容量を超えると新たに書きこみ等はできなくなります。学習履歴の右側に表示される「操作」ボタンから不要な学習履歴を削除してください。容量の使用状況は「学習履歴選択」画面右下に表示されています。



＜学習履歴ファイルをダウンロードする方法＞

自動保存がうまくいかない場合や、自動保存を使用しない場合は、下記の手順にて学習履歴をファイルとして書き出し、保存することができます。

【1】 学習履歴を保存する

- ①画面の右下の歯車アイコン（）を押します。
- ②「設定」の中の「学習履歴ダウンロード」を押すと、保存ができます。
- ③このあと、デジタル教科書を終了するには、画面右上の「×」ボタンを押します。



※学習履歴ファイルは、次のようなファイル名が自動でつくれます。保存するときに修正することもできます。

【2】学習履歴を読み込む

保存した学習履歴は、次のようにして読み込みができます。

- ①デジタル教科書を表示します。
- ②画面の右下の歯車アイコン（）を押します。
- ③「設定」の中の「学習履歴ファイル読み込み」を押します。
- ④保存先のフォルダを指定します。
読み込みたいファイルを選択すると、
保存した状態の画面が表示され、
前回の続きから学習を始めることができます。

